

平成 28 年度 第 9 回武蔵野市環境市民会議 議事要録

日時 平成 29 年 1 月 30 日 (月) 18 時 30 分開会  
 場所 武蔵野市役所 412 会議室  
 出席者 委員 13 名、事務局 5 名  
 (委員：大江委員長、鈴木副委員長、一之瀬委員、伊藤委員、小玉委員、小林委員、清水委員、中野委員、西上原委員、白田委員、松岡委員、山根委員、郡委員)  
 内容 生物多様性基本方針 (案) について  
 その他

生物多様性基本方針 (案) について

発言者	要旨
委員長	10 月に意見もらい、その後の回でさらに意見をもらったので今日はその修正版を確認していただく。修正したところを説明し、気付いた点があったら指摘していただきたい。
事務局	(資料 1 「武蔵野市生物多様性基本方針 (案) について」説明)
委員長	変更点、補強点を中心に説明いただいた。気付いた点を指摘してほしい。
委員	3 つほど気になった点がある。 まず、6 ページの外来種の規制について、図で表されているが、法による規制と指定による規制の 2 つの決め方があることがわかりにくいので、うまく表現できないか。 次に、14 ページの吉祥寺駅周辺の写真については、もっと良い写真を持っているので、提供したい。 最後に 26 ページについて、1 の②「市民生活と生物多様性の関連を多面的に理解し、発信するまち」で、「多面的に理解」というのは、「多面性があるという性状を理解する」ということか、理解の仕方が多面的であるということか。感覚では前者のほうがわかりやすい。
委員長	6 ページは補足がほしい。
事務局	ミシシippアカミミガメは法ではなく指定で規制されている。ミシシippアカミミガメはペットとして広く流通しているので、法で規制するとペットショップで持っている在庫を捨ててしまう懸念がある。そういうものはあえて規制ではなく指定として注意喚起というレベルで行っている。表現方法は工夫したい。
委員長	2 つ合わせて外来種対策ということでよいか。
事務局	そのとおり。

委員長	14 ページの指摘について、「吉祥寺駅周辺」は同一場所に見える。「多摩川上水」は同一場所ではないのか。
事務局	ほぼ同じ場所。完全一致ではない。
委員長	指摘はどの部分になるか。
委員	吉祥寺駅周辺の写真について、上から撮るか斜めから撮るかで写り方が違う。
委員長	経年変化がはっきりわかる写真が良い。 26 ページの指摘については、「多面的に」よりは「多面性を」の方がわかりやすいように思う。 他に何か指摘はあるか。
委員	数ある環境のマークの中から、RA（レインフォレスト・アライアンスのマーク）1 点に絞り込まれて掲載されたのはなぜか。
事務局	生物多様性に関わるマークはいくつもあり、食べ物以外の分野でもあるが、一般的な食品につくマークが良いということになった。また生物多様性の保全とはっきり言っていることも選定理由の1つである。エコマークなども生物多様性保全の意味を含むが、直接的に生物多様性をうたっているマークとして挙げた。
委員長	数が絞り込まれすぎていると感じるか。
委員	マークは多数あるのになぜなのかと思っただけで、絞り過ぎかどうかは判断がつかない。
委員	私もなぜ1つに絞ったかと思った。RAマークはコアに絞り込んでいる感じがする。他にも有機農業などいろいろある。消費行動に対する呼びかけであればコアに絞り込んでいる感じがある。書き方としては、いろいろなラベルがあるからこうしたところから消費行動すれば、という呼び水にするとよい。
委員長	いろいろなマークがあるが、特に生物多様性に関するマークはこのようなものがあるという位置づけにすると良いのでは。
委員	レインフォレスト・アライアンスマークのついている製品は海外に多いが国内や市内に関わるようなものをいろいろ取り上げる方が、生物多様性の保全と消費行動につながるものが理解しやすいのではないかと。
委員長	身近な取り組みのところで出しているもので、世界規模なレベルから身近なところにつなげると良い。
委員長	武蔵野市の地産地消にはマークはないのか。
委員	ない
委員	三鷹市は、「三鷹市で取れた～」という文字を入れている。
委員	31 ページに記載されている、「農薬を使わない、抑えた農産物」という表記について、使わないと言い切っているのか。物によっては農薬を使わざるを得ない

	ため、この文言がひっかかった。
委員	武蔵野市だと農薬を使っていないということはないのでは。
委員	物によるかもしれない。
委員長	他に表現としてなにか指摘等あるか。
委員	副題が武蔵野市の大きな狙いと捉えられかねない。 市民団体等と生物多様性に関わる団体がばらばらに動いている。市の中でも縦割りのセクションがばらばらに動いている。しかしながら、それぞれの活動や取り組みは他市町村より抜きん出ている。どこにでもあるような「人間と自然の調和をするまち～」という副題だと一般的過ぎて武蔵野市らしくない。他地区の人が見て「なるほど」と思うものが良い。 これまで行ってきた濃い議論を方針内に散りばめないと武蔵野市が抜きん出ているとは思われない。24 ページに方針 1～3 があるが、なにが緊急課題で、なにが中長期的な課題なのかかわからないため、全て同様に行うことに見えてしまう。重みづけ、緊急的な課題を書いた方が読んだ人の理解も得やすい。
委員長	表紙や副題への指摘があれば言っていただきたい。一般的な印象になる副題のような気はする。これから力を入れていく部分をサブタイトルにしたほうが良い。 24 ページに関連して、重点化すべきという意見については、網羅的に記す必要性もあると思う。施策の上で、長期短期の課題に分けられるのがこれからだということであれば説明を。方針 1～3 について重点的・緊急的なものが出せるのであれば、30 ページにいく前にまとめがあるとはっきりするか。
委員	マスタープランであるため、全方位的にと考えるとこのような書き方になるかと思う。今後予算をつけたいという思いがあるのであれば、重点的な部分を掲載すると良いと思う。教育・市民活動など配慮して掲載していると思うので、このような形になるのだと思う。 アクションプランであれば一点集中だと思うが、その点の考えを聞きたい。
事務局	9 ページに本方針の位置付けを乗せている。個別計画で重点項目などは載せたい。メリハリという部分ではそのような意見があることも想像できるが、事務局としてはそのような意図がある。
委員長	副題については何か意見あるか。
委員	表紙の絵の中に多様性が意図されている。
委員長	絵の由来は何か。
事務局	あえて生き物をちりばめたのは、見る人の興味を引きたいということがあった。 副題はたしかに一般的なものだが、武蔵野の中で人の営みと自然との調和はこだわりをもっており、武蔵野市の特徴だと思っているので、副題に反映してい

	る。
委員	その対極となる人間と自然の調和ができていないまちをイメージできるか。武蔵野市はどこまで調和しているかをイメージできるか。市民にとってわかりにくい表現ではないか。もともと生物多様性自体がわかりにくいので混沌とする。武蔵野市は施策や活動等が他地区に比べて抜きんできているのに、哲学論のように持っていくのはもったいない。子どもからお年寄りまで誰が見てもわかるような題がよい。現在の副題のままでは、調和できていないまちが書いていないと比較ができずわからない。
委員	わかりづらい面があることも理解できる。人間と自然の関係は時代によって変わり、調和のレベル・中身も変わってきている。開発ラッシュで自然が減った時代から守る時代へ。常に調和を意識してまちをつくることは普遍的な課題である。ただし、確かにどこで使われていてもおかしくないタイトルではある。現在提示しているのは方針案なので、あえてサブタイトルをつける必要はない。現時点では取っても良い。
委員長	24 ページの記述で、「人間と自然」という言葉が大きすぎるのかもしれないと感じた。「都市と自然環境」とするだけでもイメージが違ってくる。さらに噛み砕いたわかりやすい表現もあると思う。そうすると副題もおおのずとその表現もつかえる。今決めるのではなく、3月までに表現を探るのもありだと思う。
委員	10 ページから、歴史を紐解いて自然と調和するように努力をしてきたことがわかる。さらにステップアップするために何をしていくか盛り込むのもよい。
委員	すでに自然との調和はされてきていると思う。副題についても「目指して」というより、これまでやってきているのでさらにマンパワーで「おらがまち」を良くしてきましょうということをコンセプトとしていくともっといいものになる。できていなくて頑張るのではなく、将来より良くしていくためにマスタープランがあるという書き方にできればおのずと武蔵野市らしくなるのではないか。
委員長	文言の表現は難しいのでひらめいたら事務局へ伝えてほしい。
副委員長	本方針（案）はとてもよくできている。 基本方針なので、修飾はいらない。薄い冊子の中に、かなりの内容が盛り込まれている。
委員	基本的には納得しており、大幅に変えてくれということではないが、市内を3地区に分けていることに関して、前回の議論でも歴史的な経緯があると聞いているので異論はない。ただし、市内の連携、生態系のつながりが地区で分断されてしまっている。市全体の多様性がおぼろげになってしまっている。市内全体として地域がどうあるか工夫があるとよい。 また、16 ページから、吉祥寺で井の頭恩賜公園の紹介があり、アカミミガメが

	<p>確認されていることが書いてあるが、井の頭公園や小金井公園は対策を講じるのは東京都である。市のマスタープランで課題あげているが具体的に何をしていくのか、市のアプローチがつながっていくのかということも大切な視点だと思う。</p> <p>最後に細かい話だが、5ページに井の頭池のかいぼりで藻が見つかった話題が掲載されているが、写真が植木鉢になっている。自然のものなので植木鉢ではない方が良いのでは。</p>
委員長	地域の記述についてコメントはあるか。
事務局	16ページから示す3つの地域は地形的な特徴を記述したものなので、吉祥寺地区の井の頭恩賜公園のような都の管理物に市の施策が繋がっていかないのはご指摘のとおり。それをどのように記載するかはまた検討したい。
委員長	市民はたしかに、それらの公園等に親しんでいる。
事務局	この章はあくまで武蔵野市の特徴を記載している。
委員	<p>全体の話がないまま3圏域の話になるのはたしかに気になる。うまく注釈が入るとよい。行政区域を超えた話になると、圏域ごとに市域外でもリンクしそうな話がある。</p> <p>たとえば、善福寺でもミシシippアカミガメを飼っているなど。地域外だから関係ないという話にせず、関連性がわかると良い。</p>
事務局	市外関係者との連携という意味では26ページの最後にまとめている。市を超えた関係はよく認識した上で、関係機関と連携をしていくと記述したつもりである。
委員	パブコメというものは具体的に何をさしているか。どういうものか。市報に掲載するのか。
事務局	これを公開して、一般の方から意見をいただく。コミセンや窓口、ホームページで公開する。市報にもお知らせはする。
委員	様々な意見が出るのか。
事務局	パブコメに出してみないとわからない。
委員	生態系のピラミッドは、自分もよく使うが、人間が入っていないため、人間はどうなんだと言われる。せつかく調和について言うのであれば、武蔵野市らしい生態系ピラミッドを作ってもいい。
委員	人間は天上界の存在。生態系の専門家は人間の存在を否定している。
委員	生態系とどう関わるかと言っているので、人間が入っているものがあるとよい。
委員	人間は自然ではないので入っていない。関与が大きすぎる。人間を入れると訳がわからなくなる。同じ地球上でも砂漠や熱帯雨林などで関与の仕方が違うのでひとつの絵は描けない。

委員	一例と書いた方がいいかもしれない。
委員	捕食と考えるとヒエラルキーが成り立つが、人間はどこにでも関与できる。
委員長	地球村等で表せないか。
副委員長	難しい。
委員	いまさらの議論ではあるが、人の生活と自然の生態系を別で考えているので、本当は武蔵野市がまちづくりのなかで緑や自然とどう関わっているかを落とし込めると、それがビジョンになる。 昔だと農地だったり雑木林だったりいろいろな変遷がある。武蔵野市のこれからの方向性の中で、人と自然がどう関係するかが記載されていると、納得しやすいものができると思う。
副委員長	人間が生態系の中でどこに位置付けられているか、という疑問を抱くことそのものが大事。答えとして絵に出してしまったら、疑問に思うことなくそこで終わってしまう。
委員	方針案は、前回より見やすくなったと思う。1ページ目は具体的でわかりやすい。11ページ目の、雑木林の利用の記述について、前回の記述ではあいまいだったが、今回具体的に書かれているのでわかりやすい。地域にスケールが入って目で見てわかりやすくなった。ヘクタールが入ったのが良い。広がりが出る。
委員長	コメントを入れるスペースはあるので、何か少し説明があったほうがよいかもしれない。基本的によくなってきて、もう一度微調整を行うことになる。
委員	サブタイトルこそ武蔵野市を表すと思う。 ただでさえ生物多様性というものがわかりにくい中で、重点的なものがないと非常にわかりづらい。市として新たに始めようとしている施策が具体的に記述されていると、市民にもわかる。 市民にはわかりづらいテーマなので、市民にわかりやすく書いてもらえるとよい。
委員長	全部重点化することは難しい。年間計画などではないので、方針は網羅的に記述し、重点化というのは次の段階、個別計画などで盛り込むことになるかと思う。
委員	今回作成しているのは方針なので、アクション計画ではない。あまり重点化すると方針の賞味期限が短くなってしまう。方針としては 長く使える方針を作っておくのが一般的。重点化はしたくないと思っている。網羅的でわかりづらいと思うが、市と事業者と市民が一緒に取り組む様々な構成を書きおきたい。
委員長	次回までに必要などころは変更していただきたい。

委員	2月頃に広く意見をいただきたいと思っている。事務的にすぐにはできるものと議論が必要なものがあるので、反映できるものは反映してきたいが、議論できていない部分もそのまま掲載されてしまうところがあるかもしれないので、了承いただきたい。
----	--

その他

発言者	要旨
事務局	(資料2「環境市民会議 報告事項」報告)